

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月05日	作成者名	矢ヶ崎 富士夫	評価者名	松山 由紀
-----	-------------	------	---------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	01 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	中心となる課	こども青少年部・こども家庭課
分野	01 子育て支援	関係課	こども青少年部・保育幼稚園室
施策	02 子育て家庭への経済的支援		
施策の目的	市民が安心して子育てができるよう、子育てにおける経済的負担を軽減します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	乳幼児医療費支給事業
取り組み②	こども医療費支給事業
取り組み③	ひとり親家庭支援事業
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
ひとり親家庭就業支援事業の利用者数	年間利用者数（教育訓練給付金・高等職業訓練促進費）	人	11	3	5	9			
ひとり親家庭等の就業割合	児童扶養手当受給者が就業している割合（就業者数÷児童扶養手当現況届提出）	%	90	87	89.3	90.2			
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<p>安心して子育てができるよう、また、子育て家庭の負担軽減のため、経済的支援が求められており、こども医療費及びひとり親家庭等医療費の保険診療分の一部負担金の全額助成、国の制度である児童手当や児童扶養手当等の支給を実施している。</p> <p>しかし、対象者の増加やサービス範囲の拡大に伴い市の財政負担は増えていることから、より適正な運用を図る必要がある。</p> <p>また、子供の貧困の問題も注目されていることから、ひとり親家庭への経済的支援や就労支援等の拡充が求められている。</p>	対応策	<p>手当・医療助成全般については、受給対象者への適正な支給に努めるとともに、適切な制度の運用について、引き続き周知、啓発を行っていく。</p> <p>こども医療費については、全額助成を実施しているが、受給者証の発送時やホームページなどで適宜、適正受診を呼びかけていく。</p> <p>また、ひとり親家庭支援では、制度の周知に努めるとともに、新規事業の展開や既存の制度の活用を図りながら、ひとり親家庭の自立のため総合的な支援を実施していく。</p>
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	各種手当・医療費等は、適正な支給を実施していく。ひとり親家庭支援では、子どもの学習支援事業、第3の居場所事業などを引き続き実施し、支援の充実を図った。家庭保育室は新制度による移行で利用人数は減少したが、保育料軽減助成制度にて引き続き認可保育園での負担と同等になるよう助成を実施し、負担軽減を図った。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	こども医療費、児童手当等については、子どもの増加に伴い、支出額及び事務量も増加しているが、こども医療費については、対象年齢の拡大についての検討をする必要がある。また、子どもの貧困対策については、実態把握調査を行い、更なる対策についての検討が必要なので、人員及び予算の増加は必要である。
↑		

(評価者コメント)

<p>子育て家庭への支援は比較的充足されているが、財政負担は増加している。市民ニーズの高い経済的支援の実施は、安心な子育てへの支援として必要なものと考え、更なる扶助支援の拡大に当たっては、財政規律の面を考慮に入れる必要がある。また、ひとり親家庭支援事業については、就労支援等制度の更なる周知を図るとともに、関係部との連携の強化に取り組む必要がある。子どもの貧困対策は、実態把握をしたうえで、必要な施策を検討していく必要がある。今後も、子育て世帯への各事業の啓発を図り、適切な事業実施に努めていく。</p>
--

戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月05日	作成者名	矢ヶ崎 富士夫	評価者名	松山 由紀
-----	-------------	------	---------	------	-------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費 うち 一般財源									
		事業コード		H29決算額	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	評価結果				事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度	コメント											
		事業内容		H30予算額			施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性															
				H31計画額																					
03 ひとり親家庭等医療費支給事業 (子ども家庭課)																									
	01	ひとり親家庭等医療費支給事業		59,212	1		A	B	B	B	1		義		0										
	01	03	02	03											03	01	65,499	0							
		医療保険制度で医療にかかった場合に、医療費の自己負担		66,863																					0
				49,490																					
				7,173																					
04 遺児手当事業 (子ども家庭課)																									
	01	遺児手当事業		5,766	1		A	A	B	B	1		B		0										
	01	03	02	03											04	01	6,012	0							
		市内に住民登録され、1年以上居住している遺児の保護者		6,660																					0
				6,660																					
				1,724																					
05 ひとり親家庭支援事業 (子ども家庭課)																									
	01	ひとり親家庭支援事業		17,073	1	○	A	B	B	B	1	○	法		0										
	01	03	02	03											05	01	20,400	0							
		自立支援教育訓練給付金は教育訓練講座を受けた場合の費		21,443																					0
				6,474																					
				1,586																					
03 認可外保育施設運営支援事業 (保育幼稚園室)																									
	01	家庭保育室保育事業		27,956	3		A	B	B	A	3		B		0										
	01	03	02	02											03	01	37,679	0							
		市が定める要件に適合し、市との委託契約に基づいて児童		38,465																					0
				33,932																					
				1,379																					
計 (千円)				事業費											0										
				うち一般財源											0										
				H29決算額																					
				H30予算額																					
				H31計画額																					
				H31予算額																					

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 平成31年度で終了 8 平成30年度で終了 9 平成29年度で終了